

ごあいさつ

当社では、企業価値の持続的な向上に向けた取り組みを、財務・非財務の両面から総合的にお伝えするため、統合報告書を毎年発行しています。これは、私たちの経営の考え方や、社会との関わり方を、ステークホルダーの皆様にも正しく、深くご理解いただくための重要なコミュニケーションと考えています。

2025年版となる本報告書では、当社が中期経営計画をアップデートし、未来志向の成長戦略を新たに描いたことを中心に、その全体像と背景にある想いを丁寧にお伝えしています。素材メーカーとしての使命を果たしながら、社会課題の解決に貢献するため、技術・人材・現場力を結集し、挑戦を続けています。

私たちの根幹にある創業以来受け継がれてきた「世のため、人のため」「お客様のため」という想いとともに、当社の未来への意志と実行力を感じていただく一助となれば幸いです。

今後も、皆様との対話を大切にしながら、誠実な情報開示と、より有用な報告に努めてまいります。忌憚のないご意見・ご要望を心よりお待ちしております。



代表取締役会長

藤岡 高広



代表取締役社長

後藤 尚英

編集方針

本報告書は、愛知製鋼グループが持続可能な社会の実現に向けて、強みを活かしながら価値創造に挑む姿を描きます。短期的な成果だけでなく、未来を見据えた戦略や、戦略を支える基盤となる非財務の価値にも焦点を当て、企業の本質的な成長力を伝えます。変化の激しい環境下でも、社会課題の解決を通じて企業価値を高めていく姿勢を、ステークホルダーの皆様との対話の起点となるよう、わかりやすくお届けします。

会計基準

2019年度以前は日本基準、2020年度以降は国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。

対象読者

本報告書は、株主・投資家の皆様、お客様、お取引先様、そして従業員・関係会社の皆様を主な読者として想定しています。

期間・範囲

本報告書は、主に2024年度(2024年4月～2025年3月)における愛知製鋼グループの活動を対象としていますが、必要に応じて一部対象期間外の内容も紹介しています。

報告書/レポート体系



参照したガイドライン

- ・ GRIスタンダード
- ・ 国際統合報告フレームワーク(IIRC)
- ・ ISO26000 (社会的責任に関する手引き)

目次

イントロダクション

愛知製鋼グループのサステナビリティ	01
経営理念	02
ごあいさつ/目次/編集方針	03

価値創造ストーリー

愛知製鋼のあゆみ	04
At a Glance	05
事業展開	06
価値創造プロセス	07
トップメッセージ	08-11

価値創造の戦略

成長戦略	12-17
財務・資本戦略	18-19
鋼カンパニー	20-21
鍛カンパニー	22-23
ステンレスカンパニー	24-25
スマートカンパニー	26-27
新ビジネスの拡大/研究開発・知的財産	28-29
DX/情報基盤の整備・強化	30
物流の取り組み	31

サステナビリティの取り組み

重要課題(マテリアリティ)	32-33
気候変動への取り組み	34-38
環境マネジメント/資源循環/生物多様性	39-41
D&I/人材育成	42-43
人権尊重の取り組み	44-45
健康/安全/ステークホルダーとの関係	46-50
品質・生産	51-52
BCP(事業継続計画)	53
コンプライアンス/情報セキュリティ	54
社外取締役対談	55-56
コーポレートガバナンス	57-62
取締役・監査役一覧	63-64

会社データ

主要財務データ	65-66
非財務ハイライト	67
株式情報・企業情報	68-69

【見通しに関する記述についての注意事項】

本報告書のうち業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、内在する不確定性および今後の事業運営や内外の情報変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。